北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	特別研究指導演習Ⅲ	科目コード	8049	単位数	2
担当者名	舛田　佳弘	開講時期	２後	開講年次	2年次

授業の到達目標及びテーマ

主に経済学の知見を活用して、アジアを中心としたとした経済・ビジネスについて自分の言葉で自分の意見を論文としてまとめてもらい、修士論文の完成に向けて学生個々人の研究テーマに応じた研究指導を行います。

具体的には個別に指導しますが、目安として以下の点が満たされる必要があります。

1. 学術論文の作法（表記法など）にかなっている。
2. データや引用などの出典が正確に明記されている。
3. 先行研究のサーベイが適切に行われている。
4. 文章表現・ロジックが適切である。
5. 研究の意義・目的・結論が明確に示されている。
6. オリジナリティ（他の研究との違い）が明確である。
7. 最後まで完成させること。

授業の概要

修士論文完成に向けて、指導を行います。背景となる各理論の理解、現実との異同、説得的な説明に留意して、オリジナリティのある論文執筆を進めてもらえるよう期待します。

本セメスターでは、これまで受けた指摘や意見を反映させて論文のクオリティを高めるとともに、文章表現や表記など形式的な面でもチェックを行ってブラッシュアップしていきます。

この段階になれば、自身の選択したテーマについて首尾一貫した見解を述べられるようになっているはずですし、学術的知見の活用についても慣れてきているはずです。それを今後の活動に活かすためにも、しっかりと最後まで論文を完成させてください。

授業計画

1週目 指導教授の指導に基づき、学生個々人の修士論文作成の準備状況をチェック（1）
2週目 指導教授の指導に基づき、学生個々人の修士論文作成の準備状況をチェック（2）
3週目 指導教授の指導に基づき、学生個々人の修士論文作成の準備状況をチェック（3）
4週目 指導教授の指導に基づき、考察・分析内容の向上に向けて指導（1）
5週目 指導教授の指導に基づき、考察・分析内容の向上に向けて指導（2）
6週目 指導教授の指導に基づき、考察・分析内容の向上に向けて指導（3）
7週目 指導教授の指導に基づき、考察・分析内容の向上に向けて指導（4）
8週目 指導教授の指導に基づき、考察・分析内容の向上に向けて指導（5）
9週目 指導教授の指導に基づき、考察・分析内容の向上に向けて指導（6）
10週目 指導教授との共同演習を含め、論文の完成に向けて指導（1）
11週目 指導教授との共同演習を含め、論文の完成に向けて指導（2）
12週目 指導教授との共同演習を含め、論文の完成に向けて指導（3）
13週目 指導教授との共同演習を含め、論文の完成に向けて指導（4）
14週目 指導教授との共同演習を含め、論文の完成に向けて指導（5）
15週目 指導教授との共同演習を含め、論文の完成に向けて指導（6）
16週目 補足指導

テキスト

特にありません。

参考書・参考資料等

必要に応じて、適宜紹介します。必要であれば、英文・中文も扱います。

成績評価の方法・基準

修士論文の水準から評価します。

更新日付

2026/01/28 05:15